

わたしたちの生活と税金


真室川町立真室川北部小学校教諭 6学年 須藤 郁子

実施年月日：7年4月22日～6月18日 9名

1 実践計画・指導のねらい

社会科の「わたしたちの生活と政治」の単元との関わりの中で、「税金」について学び、「租税教室」を通して、「税金」についての理解や「税金」の必要性について理解させていきたいと考え、指導を計画した。まず、日本国憲法とその3原則を理解し、権利もあるが、義務もあることを知り、なぜ、その義務が必要なのか実感を伴って学んでいけるといいと考えた。そこで、動画など視覚的資料を活用しながら理解を深めていけるよう、また、話し合いを通して自分事として捉え、税について身近なものであり、必要なものという理解につなげていきたいと考えた。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1 ・ 2	・日本国憲法には、3つの原則があり、国民の権利を保障するとともに義務も定められていることを知る。	○ <u>日本国憲法にはどのような考え方があるのだろうか。</u> ● 国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の3つの原則がある。 ● さまざまな国民の権利が保障されている。 ● 国民が果たさなければならない義務（教育を受けさせる義務、仕事について働く義務、税金を納める義務）も定められている。 ○ <u>税金というと、どんなことを思い浮かべますか。</u> ● 消費税、住民税、固定資産税、・・・ ● 払いたくない。ない方がいい。 □使用教材名 教科書「わたしたちのくらしと日本国憲法」
3	・国の政治の仕組みと選挙について学ぶ中で、どんな税金の使い方がよいか考えることを通して税金についての理解を深める。	○ いよいよ明日は、国会議員選挙の投票日です。候補者がそれぞれ、最後の演説をしています。あなたなら、どの候補者に投票しますか。 ● 私は、高校と大学の授業料を無料にすると主張しているB候補に投票します。私たちに直接関わることだし、無料だと親が助かると思うからです。 ● 私は、C候補に投票します。C候補は、保育園の数を増やすなどして、子育てしやすい環境にしていけることを大切にしているからです。自分も将来、親になった時に、子どもを安心して育てられたらいいと思うからです。 □使用教材名 教科書「国の政治の仕組みと選挙」
4	・子育て支援の願いを実現する政治について学ぶ中で、税金の集め方や使い道について理解する。	○ 子ども家庭総合センターの様子と、子どもをもつ親の願いについて話し合おう。 ● 施設の建設には、57億円もかかったそうです。施設に必要な物を買ったり、働く人の給料を払ったり、運営にもお金がかかることが分かりました。 ● 税金を使って、多くの人が必要とする公共的な事業を行っている。税金があるから、道路や学校の建設もできるし、ごみの処理もできる。 ● 税金が何に使われているかを知ることは大切だと思いました。 □使用教材名 教科書「子育て支援の願いを実現する政治」
5	・租税教室を通して、「税金」の必要性や使われ方について考え、理解を深める。	○ 税金には、どんな種類があり、どのようなことに使われているのだろうか。 ● 税金は、私たちの生活に欠かせないものだと分かった。 □使用教材名 税のDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 

【指導のポイント】《1・2時間目》
教科書や資料集、デジタル教科書で学ぶと共に、NHK for schoolの「社会にドキリ」の「日本国憲法」や「権利と義務」などを視聴したことで、より理解が深まった。

【指導のポイント】《3時間目》
どの候補者に投票するか理由を含めて話し合う中で、どのように税金を使ってほしいか、どのように税金を使うことが望ましいかについて、自分事として考えることができたと共に、自分以外のいろいろな立場の人のことも考えながら広い視野で考え、税金の必要性を感じる事ができた。

【指導のポイント】《4時間目》
租税教室を通して、税金の必要性や使い道などについて、分かりやすく説明していただき、さらに理解を深めることができた。自分たちの生活と税金が深く関わっていて、私たちの生活に欠かせないものだということがよく理解できた。



3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 模擬選挙的な活動を設定し、自分はどの候補に投票したいかとその理由を話し合う中で、有効に税金を使うことや自分や自分以外のいろいろな立場の人の願いを考えながら、「税金」の必要性や使い方について、自分事として理解を深めることができた。
- ◎ 租税教室で「もしも税金がなかったら」というアニメを見せていただき、火事の時に消防車が来て火を消してもらったら莫大なお金を払わなければならないようになった例などを具体的に分かりやすく知り、当たり前のように暮らしている中で、税金によって生活が守られていることを子ども達が理解し、その必要性について考えることができた。
- ◆ 例えば、自分が国会議員だったら、どんなことに「税金」を使うか、どの分野に重点を置きたいかなど、いろいろと具体的に想定した場面設定の中で、考え、話し合う機会をさらに持つことができると、ますます「税金」へ興味を持つことができ、自分事として考え理解を深められる機会にもなったと思う。